

山形大学「つなぐちから。」 社会共創活動推進プロジェクト
募集要項

令和5年5月16日

1 募集の趣旨

山形大学将来ビジョン「つなぐちから。山形大学」及び山形大学の社会共創に係る基本方針の具現化のため、山形大学の多様なステークホルダーとの「新たなつながり」の構築を推進し、地域から頼れる知のパートナーを目指すもの。

2 内容

(1) 応募要件

- ① やまがた社会共創プラットフォーム加盟機関1つ以上と連携し、山形大学の社会共創に係る基本方針に沿った活動であること
(P.3に加盟機関及び基本方針について記載。)
- ② 社会共創推進室における広報活動に協力できること
- ③ 次年度以降の継続性を見込むことのできる活動であること

(2) 応募可能者

山形大学に所属する教職員（個人・団体可）

(3) 採択予定件数

20件

(4) 助成金額

1件あたり10万円（上限）

(5) 支援期間

令和5年7月～令和6年3月

(6) 申請に係る注意点

- ・既に実施中の事業及び年度をまたぐ事業の申請は妨げないが、本プロジェクトによる支援金は単年度とする。
- ・企業との共同研究および授業での使用は、申請対象外とする。
- ・事業を実施する団体の構成員のほか、AA等を活用して実施できる活動であること。
- ・他の補助金に採択されていても、本プロジェクトへの申請自体は可能とする。

- ・申請状況に応じて、追加公募を実施する可能性がある。
- ・申請者が複数案件を申請することは妨げないが、採択された案件ごとに支援金を使用・管理すること。
- ・昨年度採択されたプロジェクトについて、今年度の申請は妨げないが、採択回数を考慮し、選考を行う。

3 応募について

(1)応募方法

応募は、下記フォームにて、申請及び計画書を提出する。

(2)申請フォームについて

<https://yamagata-u2.form.kintoneapp.com/public/app-support>

(3)締め切り

令和5年 6月20日(火) 17時

4 募集及び採択について

社会共創推進室において募集・選考し、応募者に採否の連絡を行う。
なお、選考については、以下の観点で実施する。

- ① 地域に与える効果・・・地域に与える社会的意義や経済的な効果
配点 50点
- ② 水平展開性・・・他市町村への展開が可能かどうか
配点 30点
- ③ 事業継続性・・・将来的に自立した活動になりうるかどうか
配点 20点

5 事業実施について

(1)報告について

活動の実績および経費について、所定の様式により報告書を作成し社会共創推進事務室まで提出する。

(2)経費について

申請した活動の運営にのみ使用すること。使用の範囲については、山形大学会計マニュアルに則ること。

(3) 広報活動について

採択された場合、活動の様子等を本学の社会共創の HP 及びやまがた社会共創プラットフォームの HP に掲載する。

(参考)

○昨年度の実績について

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/co-creation/start-up/start-up2022/>

○山形大学における社会との共創に係る基本方針

山形大学は、地域の人々や組織と共創し、持続可能な“幸福社会”の活力となる多様な人材の育成と、地域に根ざした新たな価値を創出するとともに、それぞれのキャンパスを地域の拠点とし、“頼れる知のパートナー”として地域の持続的発展を支える社会基盤（コモンズ：公共財）となります。

山形大学 社会共創 HP

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/area/co-creation/>

○やまがた社会共創プラットフォーム加盟機関一覧

- ① 県内 13 の全高等教育機関
- ② 県内 35 市町村及び山形県
- ③ 関連団体

（山形県経営者協会、山形県商工会議所連合会、山形県銀行協会、山形県商工会連合会、山形経済同友会、山形県中小企業団体中央会、山形県中小企業家同友会、山形県医師会、山形県教育委員会、山形県高等学校長会）

やまがた社会共創プラットフォーム HP

<https://www.yamagata-u.ac.jp/yamapura/>